

CONTENTS

- P1 【特集】ITS モデル地区実験・IN 豊田
P2 シンポジウム・現地見学会
P3 【活動報告】ITS 講演会、ITS 懇談会
P4 【お知らせ】活動報告、事務局からのお知らせ

NO. 2

特 集

「ITS モデル地区実験・IN 豊田」シンポジウム・現地見学会報告

ITS モデル地区実験は高知県、岡山県を初めとして全国 5 地域で実施されています。このうちの 1 地域である愛知県豊田市にて開催された「ITS モデル地区実験・IN 豊田」シンポジウム・現地見学会について紹介します。



シンポジウムは平成 11 年 10 月 22 日（金）に開催されました。シンポジウムのテーマは「未来の交通をのぞいてみたら...」で、関係者を含め 500 名余りが参加していました。

初めに加藤正一豊田市長(上写真)および金井道夫中部地方建設局道路部長の挨拶がありました。

続いて「ITS がもたらす社会変革」と題し、三吉暹トヨタ自動車(株)専務取締役の記念講演が行われました。講演は日本における主要(交通)インフラが「運河 鉄道 高速道路 情報ハイウェイ」という変遷を遂げ、特にインターネットの普及は最近 5 年で 10%という驚異的な高い伸びを示しているという説明がありました。トヨタ自動車の ITS の取り組み意義として「自動車交通の諸問題の解決」「競争力の強化」「高負荷価値化」の 3 点を挙げられていました。さらに

ITS がもたらす効果、豊田市での ITS 推進の期待と続きましたが、この中で ITS 推進上の課題として「関係 5 省庁の連携」「規制緩和・情報開示」「研究強化」「国際標準化の推進」「産学官協調」を指摘されていました。

続いて「ITS とまちづくり」と題し、松井寛名古屋工業大学教授(ITS モデル地区実験・IN 豊田実行委員長)の基調講演がありました。全体的な講演の流れはタイトルの通りで ITS の技術論よりは「まちづくり」を意識した内容になっており、特に ITS 導入の背景として「高度情報化社会(遠隔化、携帯化、24 時間化、パーソナル化、マネジメント化)」「ハイモビリティ社会(時間価値の高まり、確実性の追求)」「成熟化社会(人口減少、少子高齢化、政府の財政難、エネルギーの限界)」といった視点からの説明がありました。



ITS による問題解決のアプローチとしては「事故安全から予防安全へ(一般情報から個別情報へ、定点情報からモバイル情報へ)」「少量情報から大量情報へ(片方向通信から双方向通信へ)」という説明があり、高度情報化社会という背景を

(前ページからの続き)

十分に意識した内容となっていました。最後にまちづくりから見た ITS に期待するものとして「ITS の導入は地域活性化」「社会的に弱い人々への生活支援・社会福祉」「地域における交流やコミュニティの基盤作り」を指摘され、ITS を単に道路交通問題の解決手段としてではなく、豊田市という総合行政の目から見た「まちづくり」の一つの手段としての活用への期待感が表れていました。

最後に「地域に根ざした ITS を考える」と題し、パネルディスカッションが行われました。交通管理者、道路管理者、産業界、自治体、市民とそれぞれの立場から、ITS への取り組み状況と期待について議論がありましたが、印象に残ったのは見波豊田市助役が今後の ITS の取り組みには「産学官・官(自治体)の連携」が必要と説明された点が印象に残りました。なお、パネルディスカッションの詳細な内容は同封の資料を参照下さい。

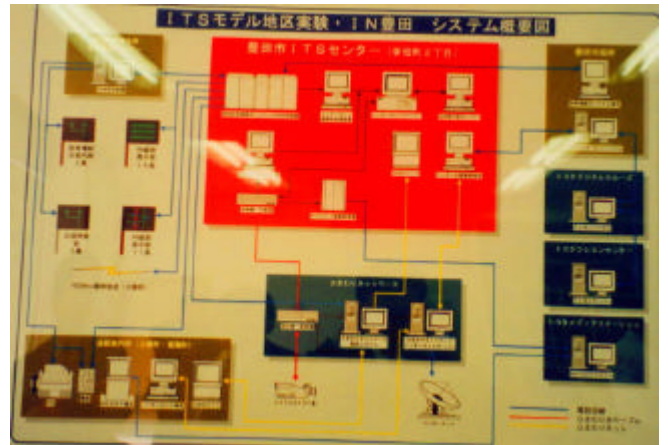
余談になりますが、3月の ITS フォーラム札幌の際にコーディネーターをお願いしました林美香子さんがパネルディスカッションの冒頭で、北海道における ITS の取り組み事例として、「峠情報のインターネットによる提供」「北の道ナビ」を紹介されていました。

シンポジウムの翌日には、豊田市が行っているモデル地区実験の施設などの見学会が催されました。見学場所は「豊田市 ITS センター」「P&R シャトルバス乗降場」「トヨタ会館」で、車中からは「道路案内所」「駐車場総合案内板」などを見学することができました。



豊田市 ITS センター内の様子

豊田市 ITS センターはモデル地区実験で扱っている情報が集積している場所で、ITV カメラ画像、駐車場情報、バスロケーション情報、EV(電気自動車)ロケーション情報などがセンター内に収集・管理されていました。なお愛知県警と接続し渋滞情報についても入手できるようになっていました。



ITS モデル地区実験・IN 豊田システム概要

なお、見学会で使用したバスにはカーナビゲーションシステム(トヨタ自動車のモネシステム)が設置されており、バスの車中からでも現在の走行路線が表示され、またモネシステムからインターネットに接続しITV カメラによる道路状況画像も見ることができるようになっていました。

写真

見学会に同行された豊田市職員の方から、道路案内所やITV カメラの設置にあたっては関係各所との十分な協議を必要としたこと、今後 2000 年度以降の中長期プランを策定中であることなどを伺うことができました。

(報告:事務局 金村直俊)

ITS 講演会 平成 11 年 7 月 21 日(水)

さる 7 月 21 日(水)当フォーラムと北海道土木技術会道路研究委員会の主催、自動車技術会北海道支部の共催により、北海道経済センターにて ITS に関する講演会を開催しました。フォーラムの会員を含め 166 名の参加があり、産学から 3 名の方から講演を頂きました。講演の題目は以下の通りです。

講演 1 「ITS の現状と今後の展望」

(財)道路新産業機構 常務理事 松村 哲男 氏

講演 2 「ITS が拓く北海道」

北海道東海大学電子情報工学科 教授 上瀧 實 氏

講演 3 「ITS と道路技術」

(株)長大 常務取締役 堀江 清一 氏

道路新産業機構の松村氏からは ITS のこれまでの流れと今後の展望について、日本における ITS の技術開発事例などを含めてご講演頂きました。

北海道東海大学の上瀧氏からはミリ波を用いた ITS 技術開発および空知支庁栗山町で実験された路線バスの運行状況把握システム(バスロケーションシステム)に関する調査研究についてご講演頂きました。特に北海道のような積雪寒冷地ではミリ波が有効に活用できることについて説明がありました。

長大の堀江氏からは建設業と ITS という視点で、今後の ITS への取り組みなどについてご講演頂きました。

ITS 懇談会 平成 11 年 9 月 20 日(月)

さる 9 月 20 日(月)当フォーラム主催により、北海道道路管理技術センター会議室にて ITS 懇談会第 1 回を開催しました。第 1 回のテーマは「旅のコンシェルジェについて」で富士通総研の白井純子氏を講師に迎えて約 40 名が参加し

ITS 懇談会第 1 回の模様

写真

ました

旅のコンシェルジェ(www.aaapc.co.jp/concierge)は、北海道によるインターネット双方向リアルタイム情報提供調査事業として実施されているもので、主に道外から北海道を訪れる旅行者へインターネットを通じて情報提供している実験サイトです。

白井氏からはこの事業の企画コンセプト、利用者ニーズ調査、評価調査の概要、平成 11 年度実証実験の概要、今後の展望などについて説明がありました。2 ヶ月間の評価調査の結果、利用者からは「今までにない双方向性が魅力」「地元の情報が掲載されているのが良い」「システムが新鮮」など好評な意見が多く、「情報量を増やして欲しい」「現地ならではの情報掲載を望む」などの要望も寄せられたとのことでした。現在、その後の実証実験の結果を受けてシステム実用化に向けた検討が進んでいるということでした。

特に観光分野ではホームページが数多く立ち上げられており(フォーラムホームページ観光・旅行関連参照)、また災害・医療関連の情報をインターネットで提供するシステムも実現されており、今後インターネットで情報を提供する場合の一つの形として大変参考になった懇談会でした。

ITS 技術・取り組み発表会開催報告

会員企業の ITS に関する技術や取り組み状況について特別会員を対象に発表していただきました。

発表会員名（発表順、敬称略） / 発表タイトルおよび内容（一部）

大成建設 / ITS 導入により高速道路「SA・PAおよびIC」に付加される機能について
 NTTドコモ北海道 / ITS 分野でのNTTドコモの取り組みについて、iモードのスタートと今後の可能性
 オムロン / 地域総合情報システム、監視画像伝送装置 / 路面情報管理システム
 NTTデータ / NTTデータの考える札幌圏 ITS（トラフィックカメラ、道の駅情報化、画像監視システムの紹介）
 アジア航測 / 移動体計測によるモバイルマッピング技術
 日本工営 / 斜面災害を対象とした防災情報配信システムに関わるモデル地区実験（案）
 岩崎電気 / 冬季道路安全走行支援システム（道路交差点部の照明実験）
 名古屋電機工業 / 画像処理型路面状況検出システム、XML技術を活用した「ドライブアドバイザー」の開発
 長大 / 長大のITS技術（SA、道路通信標準、VICS、ETC、ITSデータベースなど）
 日本信号 / IPOS（アイボス）による駐車場関連情報提供サービスの概要
 沖電気工業 / 路車間情報システムの提案、見通し不良走行支援システム
 小糸工業 / 路面凍結予測システム / 画像型路面積雪深計
 NTT東日本 / ITS情報流通システム - スマートウェイ時代の情報インフラの実現を目指して -
 三菱電機 / 路車間通信（車載器など） / 走行支援（ミリ波IR画像）、「ドライブアドバイザー」の開発
 積水樹脂 / 情報表示板・ガイドライトシステム
 明星電気 / 停止車両検知装置の開発 - 冬季道路交通安全支援システムの開発 -
 三菱重工業 / ETC（車載器など） 駐車場管理システム、新交通システム
 AHS研究組合 / 走行支援技術の開発

活動報告：土木の日パネル展示、寒地技術シンポジウム発表など

土木の日協賛事業パネル展示に出展しました。

平成11年11月12日(金)から16日(火)まで、さっぽろ地下街オーロラプラザにて開催された「土木の日パネル展：輝く未来をつくる土木技術（北海道土木技術会主催）」において、当フォーラムの活動内容、ITSの開発分野、ITSにより変わる暮らしや交通をテーマにパネルを展示しました。

寒地技術シンポジウム（平成11年11月17日～19日、北見）において、当フォーラムの活動などについて発表しました。

発表タイトル「札幌圏 ITS 推進フォーラムの活動と寒地技術について」

北海道交通研究会会報（1999.12 No.178号）に「ITS（高度道路交通システム）について」を発表しました。なお、研究会および会報に関するお問い合わせは(財)北海道建設技術センター(TEL 011-232-5757)にお願いします。

事務局より

推進フォーラムのホームページは <http://www.sapporo-its.gr.jp/>

会報第3号は平成12年6月発行予定です。

年会費納入のお願い

年会費をまだお納めになっていない方は、至急お納め願います。なお振り込み手数料は各自でご負担願います。

(振込先)北洋銀行札幌市役所支店 (普)3135872 札幌圏 ITS 推進フォーラム

編集・発行 / 札幌圏 ITS 推進フォーラム (Sapporo ITS Forum)

事務局 〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 MNビル10階 札幌総合情報センター(株)内

TEL 011(232)4848 / FAX 011(232)0048 事務局長：青山 彰、事務局員：金村 直俊、中川 むつ子